

## 参加してみませんか

P4の共通申込書でお申込みください。ただし申し込み多数の場合抽選になります。申し込みが間に合わないなど、やむを得ずTELでお申込みされた方は、後日共通申込書を配送担当にお渡しください。間違い防止のためにご協力ください。

### よつ葉カフェ in 塩谷・伊勢崎

よつ葉カフェでは、毎日欠かせない食べ物で気をつけるポイントや食の世界で起きている旬な情報などを知ることができます。皆さまが家族の健康のために普段の生活でできることを考えてみませんか？

ご意見ご要望も、お聞かせください。

交流会の後は、貴重なネオニコチノイド系農薬未使用の野菜・有機野菜を使用した食材で作ったランチも用意させていただきます。

一般の方でもご参加いただけます。お気軽にご参加お待ちしております。

#### 【塩谷】

日にち：11月2日（金）  
会場：大沢公民館  
（日光市大沢町809）  
締切日：10月19日（金）

#### 【伊勢崎】

日にち：11月9日（金）  
会場：伊勢崎市民プラザ  
（伊勢崎市富塚町220-13）  
締切日：10月26日（金）

時間 10：15～13：00（受付10：00～）  
参加費：無料 定員：25人  
託児：あり（無料）  
主催・問合せ：よつ葉生協 組合員活動室 菊地  
TEL 0120-07-1613



#### 那須塩原

### 手前味噌作り

毎日の食卓に欠かせない発酵食品の味噌を自分の手で作ってみませんか？よつ葉生協のみそ作りキットを使って約3.5kgの味噌を仕込みます。お昼には手打ちそばをご用意します。

日時：11月22日（木）9：30～13：30（受付9：15～）

会場：稲村公民館（那須塩原市若草町117-1）

参加費：組合員 大人2000円 一般 大人2200円

定員：12人 託児：あり（無料）

主催：那須塩原委員会 締切日：11月2日（金）

問合せ：よつ葉生協 組合員活動室 菊地

TEL 0120-07-1613

<持ち物>5kg用の漬け物容器・圧力鍋・マッシャー  
・エプロン・三角巾・手ふきタオル



#### つくば

### 「パパ、遺伝子組み換えってなあに？」上映会

遺伝子組み換えってご存知ですか？お子さんに説明するような、解りやすいDVDを私たちと一緒に観てみませんか？何度も観たくなるDVDですよ。

日時：11月22日（木）10：00～12：00（受付9：45～）

会場：老人福祉センター とよさと（つくば市遠東639-1）

参加費：無料

定員：30人 託児：あり（無料）

締切日：11月9日（金）

主催：つくば委員会

問合せ：よつ葉生協 組合員活動室 菊地

TEL 0120-07-1613



#### 宇都宮

### 大掃除にむけて今年はナチュラルクリーニング

太陽油脂さんをお呼びして、自然に優しいお掃除の方法を学びます。普段、疑問に思うことを、この機会に聞いてみませんか。

日時：11月30日（金）10：00～12：30（受付9：45～）

会場：田原コミュニティプラザ 調理室  
（宇都宮市上田原町1番地）

参加費：無料 定員：16人 託児：あり（無料）

主催：宇都宮北委員会 締切日：11月9日（金）

問合せ：よつ葉生協 組合員活動室 菊地

TEL 0120-07-1613

<持ち物>筆記用具、メモ

※当落は、郵送にて11月21日（水）までにお知らせします



#### 伊勢崎

### 新年を手作りのしめ縄で迎えませんか

伊勢崎委員会毎年恒例の企画です。米文化の伝統行事である「しめ縄」を自分の手で作ってみませんか。

日時：11月29日（木）10：00～12：00（受付9：45～）

会場：伊勢崎市南公民館（伊勢崎市上泉町619-1）

参加費：組合員 大人300円 一般 大人300円

定員：10組 託児：なし

主催：伊勢崎委員会 締切日：11月9日（金）

問合せ：よつ葉生協 組合員活動室 菊地

TEL 0120-07-1613

<持ち物>木ばさみ、レジャーシート、

※参加者には11月15日（木）に電話連絡しますので、当日連絡のつく電話番号をご記入ください。

## 2017年12月7日（土）に開催された「稲わらを使ったしめ縄作り」をご紹介します！

（伊勢崎委員会）

伊勢崎プラザで、毎年恒例の「しめ縄作り」教室を行いました。毎年講師をして頂いた、村上良平先生が去年亡くなってしまい、今年は委員会中心に今まで教わったことを思い出しながら、しめ縄作りに取り組みました。いざ始めてみると色々なことがわからなくて・・・今思えば、教われる時にもっとしっかり勉強すればよかったと後悔しています。

特に難しかったのは、稲を叩いて柔らかくすることでした。どのくらいの柔らかさまで叩いたのか、毎回先生に「このくらい？」と聞いていたので、自分の感覚で覚えていなくて、叩きすぎればボロボロに、叩きが弱いと縄をなうのに稲が固すぎてまとまらず、本当に悪戦苦闘しました。稲に吹きかける水の量など、ちょっとした「加減」の難しさに気がつきました。

最後は、みんな思い思いの「しめ縄」ができあがりました。決して上手にできたわけではないのですが、今までで一番思いのこもった「しめ縄」ができたように思います。これからも、稲作の伝統である「しめ縄作り」を続けていきたいなと改めて思いました。

